

井伊直政 関ヶ原合戦勝利への道

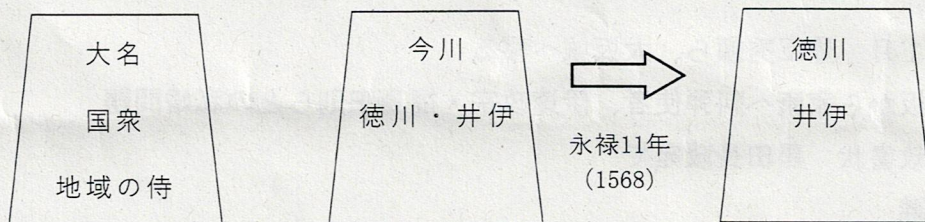
立命館大学等非常勤講師
／元彦根城博物館学芸員
野田 浩子

はじめに

- 徳川家康が関ヶ原合戦で勝利する上で井伊直政はどのような貢献をしたのか？
- 井伊直政は徳川家臣団の中でどのような位置にあり、どのように活躍したのか？

I 徳川家臣団の中の井伊直政

- 今川配下の時代



- 徳川家中での位置づけ

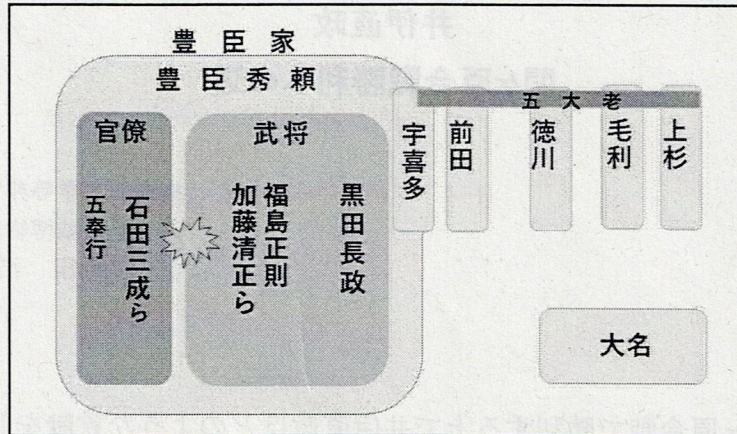
- ・天正3年(1575)直政(15歳)、徳川家康の家臣となる
- ・天正10年の井伊直政
 - ①武田旧領へ出兵、地域の侍を徳川配下とする交渉
 - ②北条との和睦交渉使者
 - ③侍大将となる＝家康により徳川最大の部隊を創出
 - ④家康の養女との縁組み
 - ⇒徳川一門の扱い、重臣への登用

- 豊臣政権の中で

- ・天正14年 徳川が豊臣政権へ入る、家康と直政が同時に官位を授かる
政権内では徳川一門＝大名という扱い
 - ⇒諸大名と対等に交渉できる
- ・天正18年 関東へ国替え後、上野国箕輪城主12万石 家臣団筆頭

2 徳川の天下取りに向けて

○慶長3年(1598) 豊臣秀吉死去により諸勢力の対立



○黒田如水(官兵衛)・長政父子との盟約

- ・慶長3年11月 家康と黒田如水(朝鮮から撤兵して上洛)の会談
- 12月 直政と黒田長政が起請文を交わす

○私婚問題

- ・慶長4年1月 豊臣秀頼ら、大坂城へ移る
- ・1/21 大坂から家康へ糾弾使者、伊達政宗・福島正則らとの私婚問題
- ・1/23付直政書状 黒田長政宛て
対応協議
- ・豊臣諸将が伏見の家康屋敷を警護
⇒井伊直政と黒田長政が豊臣諸将を家康の味方につける
＝関ヶ原合戦での枠組みができあがる

3 関ヶ原合戦での井伊直政

○7/25 小山で西上を決定

- ①先陣は豊臣諸将、東海道を西上、直政が同行
- ②家康もそれを追う
- ③徳川本隊(徳川秀忠が大將)は東山道
清洲で合流して敵に向かう

○8/3 方針変更

- ・8/4付家康書状、豊臣諸将9名宛て7通
「今度先勢として井伊兵部少輔差し遣わし候条、行^{てだて}等の儀、我々出馬以前は
何様にも彼の差図次第に仰せ談ぜられ候は本望たるべく候」
→政権全体が敵となったことを知り、家康は当面江戸に滞在、直政が名代

○8/21 岐阜城攻め

- ・豊臣諸将による岐阜城攻撃作戦を承認
- ・攻撃主体は豊臣諸将、直政は戦況を毎日家康へ報告
「何もの御跡につきあるき申す事に候」(8/25直政書状、黒田如水宛て)
⇒諸将の間を調整して離反させない役割

○8/24 赤坂に布陣

- ・徳川方最前線、敵味方の情報が集まる
- ・8/25直政書状、黒田如水宛て「何分にもこの節に候条、御才学候て御手に入るべき所仰せ付けらるべく候」
⇒九州での開戦承認

○9/11 家康、清洲に着陣

- ・軍議、即時開戦を決定
- ・黒田を通じた毛利方への味方工作 9/14起請文

○9/15 関ヶ原開戦

- ・開戦時の井伊隊「抜け駆け」
⇒徳川本隊不在の中、「徳川のいくさ」とするための行為

○戦後処理

- ・毛利との交渉
9/14起請文違反が発覚、吉川広家へ周防・長門を下すと内定
吉川から直政へ懇願、毛利本家安堵の決定
11/5毛利輝元起請文、井伊直政宛て「今度の儀、御取成をもって身上相澄み候段、過分至極に候」
- ・真田昌幸の助命

おわりに

○『寛永諸家系図伝』に記す家康からの評価

「天下の大戦を争い、度々先鋒の将として勝利す、誠に開国の元勳なり」

野田 浩子 (のだ ひろこ) 略歴

1995年から22年間 彦根城博物館学芸員として井伊家や彦根地域の歴史を研究

2017年から フリーの歴史研究者

現在 立命館大学等で非常勤講師を勤める

著書：『井伊直政 家康筆頭家臣への軌跡』(戎光祥出版、2017年)

『朝鮮通信使と彦根 記録に残る井伊家のおもてなし』(サンライズ出版、2019年)

『井伊家一彦根藩一』(「家からみる江戸大名」シリーズ、吉川弘文館、2023年)

	天文11 1542	永禄3 1560	永禄11 1568	元亀元 1670	天正10 1582	天正12 1584	天正14 1586	天正18 1590	慶長3 1598	慶長5 1600	慶長8 1603
	[城地] [領地]	岡崎 三河	+ 遠江	浜松	東海 甲信5か国	駿府	江戸 関東八州	+ 東海・畿内周辺			
徳川家康	誕生 今川氏の人質	岡崎城に戻る 桶狭間の戦い	翌年今川氏を滅ぼし、遠江を領有 遠江に進出	浜松に居城を移す	駿河・甲斐・信濃を領有 武田旧領で北条氏と争う 本能寺の変 武田氏滅亡	小牧・長久手の合戦(秀吉と戦う)	上洛(豊臣政権に入る) 秀吉妹を娶る、従三位参議の官位 秀吉と和睦	関東へ国替え 小田原の陣、北条氏滅亡	豊臣秀吉死去	関ヶ原合戦に勝利	征夷大將軍となる(幕府をひらく)
井伊直政		桶狭間の戦いで井伊直盛討死	鳳来寺に逃れる 徳川が井伊谷に侵攻		家康養女を妻とする 直政を大将とする部隊を組織 北条との和議交渉使者	井伊隊の初陣、長久手で活躍	官位を授かる	上野国箕輪城主(12万石)	黒田長政と盟約を結ぶ	西軍大将毛利輝元と和議交渉 豊臣諸将とともに岐阜城を攻め落とす	
		永禄4 井伊谷城主の一族として誕生			天正3 徳川家康の家臣となる 母の再嫁先、松下氏の養子となる			近江国佐和山城主(18万石)			慶長7 死去